

議員提出議案第 16 号

ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充
を求める意見書

上記議案を別紙のとおり会議規則第 14 条第 2 項の規定により提出します。

令和 6 年 12 月 9 日

渋川市議会議長 安 川 信 之 様

提出者 教育福祉常任委員会
委員長 加 藤 幸 子

別紙

議員提出議案第16号

ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充
を求める意見書

政府は、2024年の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定で、看護師や介護職などのケア労働者の賃金水準は、社会基盤を支える役割の重要性に比して低い状況であるとして、ケア労働者の賃上げに特化した施策を盛り込みました。しかし、他産業では5%程度の賃上げを実現しているのに比べ、ケア労働者の賃上げ率は2.5%を目標値としており、依然として他産業より著しく低い状況です。

現在の医療・介護現場では、退職者が増加し、入職者が減少する事態が広がっています。群馬県の介護職員数は、2026年度に1,947人の不足、高齢化がピークに達するとされる2040年度には7,845人の不足となる見通しである一方、2023年度の県内の介護福祉士養成施設の定員充足率は3割にも満たない状況であると報道されました。その背景には、過酷な労働実態とそれに見合わない低賃金があることは紛れもない事実です。

日本医労連・全大教・自治労連で取り組んだ「2022年看護職員の労働実態調査」では、仕事を辞めたいと「いつも思う」と「ときどき思う」の合計は約8割にも上り、仕事を辞めたい理由では、「人手不足で仕事がきつい」、「賃金が安い」、「思うように休暇が取れない」などが挙げられています。

コロナ禍で経験した「医療崩壊」「介護崩壊」を、人員不足が原因で繰り返すことがないように、そして自然災害対応や新たな感染症に備えるためにも、平常時から必要な人員体制の確保が必要であり、そのために賃上げが必要です。

よって、ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充のために、以下の事項の実施を強く求めます。

記

- 1 医療や介護現場で働く全てのケア労働者の賃上げと医師・看護師・介護職員などの配置基準を抜本的に見直し、大幅に増員すること。また、人員

確保のために必要な追加支援策を実行し、支援すること。

- 2 全ての医療機関と介護事業所等を対象に、物価高騰や人件費増を補えるだけの診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬を抜本的に引き上げる臨時改定を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

令和 年 月 日

渋川市議会議長 安 川 信 之

内閣総理大臣 あて

総務大臣

財務大臣

厚生労働大臣